

会 議 録

会議の名称	平成27年度 池田市社会教育委員会議		
日 時	平成28年2月24日(水) 開会 午前10時00分 ・ 閉会 午前11時30分		
場 所	池田市役所 6階第4会議室		
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たつみ議長 ・ 室田副議長 ・ 小倉委員 ・ 楠田委員 ・ 岡村委員(校長) ・ 古田委員 ・ 向田委員 <p style="text-align: center;">計 7名</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東本石橋プラザ館長 ・ 加藤図書館長 ・ 榮口公民館長 ・ 田中歴史民俗資料館長 ・ 田上生涯学習推進課長 ・ 則政生涯学習推進課主事 <p style="text-align: center;">計 6名</p> </td> </tr> </table>	<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たつみ議長 ・ 室田副議長 ・ 小倉委員 ・ 楠田委員 ・ 岡村委員(校長) ・ 古田委員 ・ 向田委員 <p style="text-align: center;">計 7名</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東本石橋プラザ館長 ・ 加藤図書館長 ・ 榮口公民館長 ・ 田中歴史民俗資料館長 ・ 田上生涯学習推進課長 ・ 則政生涯学習推進課主事 <p style="text-align: center;">計 6名</p>
<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たつみ議長 ・ 室田副議長 ・ 小倉委員 ・ 楠田委員 ・ 岡村委員(校長) ・ 古田委員 ・ 向田委員 <p style="text-align: center;">計 7名</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東本石橋プラザ館長 ・ 加藤図書館長 ・ 榮口公民館長 ・ 田中歴史民俗資料館長 ・ 田上生涯学習推進課長 ・ 則政生涯学習推進課主事 <p style="text-align: center;">計 6名</p>		
欠席者	杉山委員		
傍聴者	なし		
議 長	たつみ 議長		
議 題	1、平成27年度 社会教育関係事業について 2、親学習事業の報告について 3、スポーツ推進基本条例(案)について 4、その他		
配布資料	① 平成27年度 社会教育関係の事業の主な取組み スポーツ推進基本条例(案)について ② 「親学習」事業の報告 ③ 「親学習」テキスト(参考)		

議 事 経 過

開 会
(教育委員会あいさつ)
1、案件1 平成27年度 社会教育関係事業について
資料①(平成27年度 社会教育関係の事業の主な取組み)に基づき各部署の社会教育関係事業計画について事務局より説明。
委員 (生涯学習推進課の事業について)市が認可した社会教育関係団体によっては、社会教育施設の会場抑えの際などに有利になっている団体もあるようだが、社会教育関係団体をどのように定義されているのか。
事務局 社会教育、社会体育に関するグループが、母体として所属する団体を社会教育関係団体と位置付け、報償金などの助成を行っている。
委員 (社会教育関係団体について)市が社会教育関係団体と認可している団体については、団体名・認可の経緯・活動内容などについて、資料としてリストアップするべきではないか。現状、団体によっては、昔からの経緯のみで市から認可された団体として活動しているケースが見受けられる。
委員 他市では社会教育関係団体を登録制にしているケースがある。本市でも、市から認可された団体であることを書面で提示できるように、登録制等の導入を検討すべきであると考え。
委員 (歴史民俗資料館について)小学校出前授業の昨年度の実施状況は?
事務局 昨年までは単発で出前授業を実施していたが、今年度より学校関係の部署と連携して本格的な出前授業を実施した。実施校は6校。近隣の場合は資料館に訪問頂き、遠方の場合は学芸員が民芸品等を持参して授業を行う形式をとっている。
2、案件2 親学習事業の報告について
資料②・③に基づき、親学習の事業報告について事務局より説明。
委員 子どもの年齢によって、保護者が話し合いたい内容は異なると思うが、親学習を実施する際にどのように分けをしたのか。
事務局 今年度は各中学校区のPTA会員を中心に実施したので、参加者の年齢層は様々であった。その中で、若い保護者が年長の保護者から学ぶことメリットはあったようだが、年長の保護者が若い保護者に学べるケースは少なく、ある程度の分けは必要であると考え。
委員 特に深刻な悩みを抱えている親に対するケアについては、どう考えているのか。
事務局 親学習については、少し悩みを抱えている親が前向きになれるための参加型学習と考えているので、深刻なケースの場合は、カウンセリング等の個別対応が必要と考えている。
委員 (親子への個別対応については)各学校にスクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーが配置されている他、教育センターで個別相談を行っており、悩みに応じて対応できる体制は整っている。(親学習については)やはり保育所～小学校低学年位までと、小学校高学年～中学校の保護者では悩みが異なり、前者は子育て全体への不安、後者は子どもの将来や親との関係が悩みの中心となってくるので、年齢への考慮は必要である。また、平日に参加できない親の

ために、休日の実施も検討して頂きたい。
委員 (池田市の親学習リーダーについて) 現状3名だが、市でリーダー養成は検討しているのか。
事務局 豊中市では養成の事例があるので、必要に応じて参考にしていきたい。人数不足については、近隣の親学習リーダーの支援でカバーしている。大阪府教育委員会では、平成28年度に養成の予定はなし。これまで養成したリーダーの活動状況を各市町村にヒアリングして親学習の効果を検証する時期にきているようだ。
委員 人権教育での参加型学習や、各種講演会と比較すると、参加人数の規模が小さく感じる。親学習の意義はあると思うので、より多くの方にご参加頂けるよう、積極的に関係者に働きかけて頂きたい。
3、案件3 スポーツ推進基本条例(案)について
資料①(スポーツ推進基本条例(案))に基づき、条例(案)について事務局より説明。
委員 アスリートの養成など技術面での言及が多いと感じるが、遊びの中で子どもが自然とスポーツを楽しむことも重要と考える。今は公園で球技をすることも難しいが、スポーツに親しむ環境が増えることを望む。また、地域のスポーツ団体に子どもが参加しにくくなっていることも課題である。保護者の負担が増えることから参加を断念するケースが多く、年々団体の運営が難しくなっており、子ども会の衰退にも繋がっている。子どもの参加を増やすためには、先ほども述べたように、試合で勝つだけではなく、遊び心を大切にすることもポイントだと感じる。
事務局 保護者の負担は確かに課題である。他市の社会教育委員研修会でも、子どもの面倒を見る、地域の人が増えていると指摘された。こうした地域の人を育てるのは社会教育の領域であり、有志が参加、交流できる場を増やす必要がある。スポーツ振興会などで、フォローできないか検討していきたい。
委員 野球チームに所属する子どもが、子ども会のソフトボール大会に出ようとすると、コーチに怒られた、といったケースも伺っている。子どもを指導される立場の方には、子ども会の活動もご理解いただき、広い視野での、子どものスポーツ振興を考えていただきたいと思う。また、条例のスポーツ振興基金については、税収の何パーセントを充てるか、という記載も必要だと考える。予算の減額などで、積み立てられないケースもありうるので、具体的な予算要求を行って頂きたいと思う。
4、案件4 その他
事務局 (池田市立山の家の廃止について) 平成28年6月30日をもって、山の家を廃止する。老朽化(昭和38年建設)のため建替が必要であるが、法律改正に伴って宿泊施設の建設ができないため、廃止せざるをえない。今後は、キャンプの場合は、五月台や緑風台を利用いただき、施設での宿泊の場合は、近隣施設を利用いただく。教育相談業務については、旧伏尾台小学校の北校舎を活用して継続する。廃止条例については、3月議会で上程する。
委員 廃止後の跡地活用の予定は?
事務局 建物があると治安上良くないので、解体する。
事務局 (猪名川運動公園の照明柱の事故について) 2月に発生した事故を受けて、各施設で照明柱等の一斉点検を実施した。
以上